

令和4年度 雀宮南小学校 学校評価書（計画）

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

「人間尊重の教育」を基盤として、地域の特性や児童の実態を踏まえ、社会の変化に主体的に対応できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい南の子の育成に努める。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

南の子 なかよく かしこく たくましく

○なかよく……なかよく助け合い きまりを守る子(思いやり・規範意識・人権意識)

○かしこく……進んで学びよく考え自分の言葉で表現できる子(自主性・創意・コミュニケーション力)

○たくましく……明るく元気に粘り強くやり遂げる子(明朗・勤労・耐性・自己肯定感)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

小学校は、子供の夢を育てていく場所であり、多様な経験を通して学んでいく場所である。個の成長を認めることを基本とし、教育活動の充実・改善を通して、一人一人が自分の成長を実感し自己肯定感をもてる学校づくりを進めていく。そのためには、教職員が互いに教師力を磨き合い、それぞれの専門性や個性を発揮しながら、明るく笑顔で教育活動を推進していくとともに、地域・保護者・児童・教職員が心一つにして、「笑顔いっぱい あいさついっぱい やる気あふれる南小」を目指して努力していく

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画及び第2次宇都宮市学校教育スタンダード、令和3年度指導の重点を踏まえ、児童・教員・保護者・地域が協力しながらそれぞれの役割を果たす学校経営に努める。

- （1）児童一人一人が自分のよさを発揮し、学校生活への充実感や自己肯定感、自己の成長を感じることでできる学校づくりに努める。
- （2）基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育てることに努める。
- （3）教育活動全体を通して、計画的・系統的に人権を尊重する心、人を思いやる心、規範意識などを育むとともに、折れない心や、やり抜く心など心のたくましさの涵養に努める。
- （4）生涯にわたって自他の生命を尊重し健康で安全な生活を送れるよう、自ら進んで体力づくりをしようとする態度や健康管理する能力、望ましい生活習慣、危険を予測し回避する行動を身に付ける力の育成に努める。
- （5）情報化の急激な時代の変化に向き合い生き抜くための資質・能力を身に付けることができるように情報活用能力の育成に努める。
- （6）教職員が同僚性と協働性、職種の利点を発揮したチーム力の向上を通して、組織的、計画的な教育活動の推進に努める。
- （7）教育者としての使命感を自覚し、研究・研修、日常の相互研鑽等を通して、人権意識の高揚と指導力の向上に努める。
- （8）教職員一人一人のモチベーションやメンタルヘルスを保持しながら、最大限の力を発揮できるように業務の改善と勤務時間を意識した働き方改革を推進する。
- （9）地域と連携・協働した学校づくりを推進する。
- （10）地域学校園の連携を図り、児童生徒・教職員の特徴・よさを生かした教育活動を推進する。

【雀宮地域学校園教育ビジョン】 一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～いきいきとした活動を通して～

4 教育課程編成の方針

- （1）児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、異学年間交流活動や教師と児童による主体的活動の推進と、地域外部人材を活用した意図的・計画的な実践化が図れる教育課程の編成に努める。
- （2）言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点で育成していく教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- 児童一人一人がよさを発揮し、学校生活への充実感や自己肯定感を感じる教育活動の展開
- 児童が、自己の成長を実感できる教育活動の展開
- 認め励ます教育の一層の推進
 - ・道徳教育・人権教育の充実を通じた、豊かな人間性と他者を思いやる力の育成と折れない心ややり抜く心などのたくましさの涵養
 - ・地域と目標を共有し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動の展開
 - ・業務を効率化し時間的な余裕の中で質の高い教育活動を展開するための環境の整備と教職員の意識改革
 - ・コロナ禍における感染防止対策の徹底と情報発信による保護者・地域の理解の促進

【学習指導】

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
 - 「宇都宮モデル」の「はっきり」「じっくり」「すっきり」を踏まえた授業改善
 - 児童が学習の見通しを立てたり、学習内容を振り返って次につなげたりする学習活動の展開
 - 児童自らが学習課題や学習活動を選択する展開の工夫
 - 児童が、自分の考えをもち表現、議論する中で、学びを深めていく授業展開の工夫
 - 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせる発問や学習活動の工夫
 - 獲得した知識を関連付け深く理解したり、生活や他教科で活用したりする学習活動の展開
- ・基礎学力の向上に向けた取組の充実
 - TT等を取り入れた朝の学習の充実
 - 単元や学期ごとに復習するまとめ学習の充実
 - 学習したことを振り返って復習したりする家庭学習の習慣化
 - AIドリル等の活用による計画的な家庭学習
- ・ICTを効果的に活用した授業展開の工夫（1人1台端末、デジタル教科書等の活用）
- ・言語能力、情報活用能力やSDGsに係る現代的な諸課題に対応する力を育てる問題解決的学習や教科等横断的指導の充実
- ・安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団づくり
- ・学校行事や特別活動などで自分の変容や成長を実感できる学習活動の工夫（キャリア教育の充実）
- ・図書、ICTの活用能力を向上させる指導の充実（1人1台端末の活用の推進）
- ・家庭での読書習慣の形成

【児童生徒指導】

- ルールやマナーがあるよさを実感し、進んで守ろうとする態度の育成
- 相手の気持ちを考えて行動する実践力（あいさつ・場に応じた言葉遣い等）の育成
 - ・いじめ・不登校を生まない指導と居がいのある学級づくり
 - ・家庭での生活を振り返り、よい生活習慣を身に付けようとする態度と情報モラルの育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 健康に関する知識を正しく理解し、健康で安全な生活を営む力を育むとともに、進んで運動に取り組む児童の育成
- 自分で決めた目標に継続的に粘り強く取り組むことができる児童の育成
 - ・危険を予測し、自らの命を守るための行動力の育成
 - ・自らの食生活を振り返り、望ましい食習慣の形成に向けて自ら改めようとする態度の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。→児童の肯定的回答 85%以上	① 学びの質を高めるために、めあての立て方、ノートを取り方、まとめ、振り返りの仕方などについてきめ細やかな指導を行う。 ② 言語活動を充実し、主体的・対話的に取り組めるような授業の展開を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。→児童の肯定的回答 85%以上	① 道徳や学級活動などの授業を通して、思いやりの心を育み、縦割り班活動等で実践できるようにする。 ② 学級内で思いやりのある行動をした児童を取り上げて、互いに称賛できるようにしている。		【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 児 童 の 姿	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。→児童の肯定的回答 85%以上	① 「よい子の日（きまり）」「遊びのきまり」や生活目標の周知徹底を図ることで、規範意識を高め、はじめのある行動がとれるようにする。 ② 人権教育や道徳の授業、運動会・全校ウォークラリー等の学校行事の活動を通して、集団の一員としての自覚を高めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。→保護者の肯定的回答 85%以上	① 児童・地域・保護者が協力し合い、朝のあいさつ運動を定期的（6月・10月）に行う。また、児童には、日頃からあいさつの大切さを自覚させ、意識を高める。 ② あいさつ運動の期間に、道徳や特別活動の時間で礼儀の授業を行い、児童の意識を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 児童は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。→児童の肯定的回答 80%以上	① 自分で決めた目標に継続的に粘り強く取り組むことができるよう指導する。 ② キャリアパスポートを活用し、自分のよさや適性、将来の生き方を考えさせるとともに、身のまわりの仕事について調査するなど、自分や他者の生き方に関心をもたせる取組をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。→児童・保護者の肯定的回答 85%以上	① 「交通安全教室」「避難訓練」「防犯訓練」等を定期的実施し、日常生活の中で考えられる危険やその対策について体験的に気付かせる。 ② 健康に関する知識を正しく理解し、進んで運動に取り組んだり、自らの食生活を振り返ったりし、望ましい生活習慣を図る態度を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 児童は、夢や目標に向かって社会に貢献できるよう努力している。→児童の肯定的回答 80%以上	① 自分で決めた目標に継続的に粘り強く取り組むことができるよう指導する。 ② キャリアパスポートを活用し、自分のよさや適性、将来の生き方を考えさせるとともに、身のまわりの仕事について調査するなど、自分や他者の生き方に関心をもたせる取組をする。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。→教職員の肯定的回答 80%以上	① 英語を使ったコミュニケーションを行う目的や場面を理解させるとともに、コミュニケーションできる場面の設定を工夫する。 ② ALTと連携を図りながら、コミュニケーションできる場面を多く設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 私は、宇都宮の良さを知っている。→児童の肯定的回答 80%以上	① 宇都宮における人・自然・社会などについて様々な場面で意図的に触れさせ、興味・関心がもてる工夫をする。 ② 副読本や図書資料、教育機器等を活用して宇都宮について調べ学習できる場の設定を工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。→教職員の肯定的回答 85%以上	① ICT機器や図書館等における設備の充実を図るとともに、それらを活用したわかる授業を展開する。 ② ICT機器や図書等を工夫して活用することにより、授業の改善を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 児童は、高齢者に対して、感謝やいたわりの心をもって優しく接している。→児童の肯定的回答 80%以上	① 道徳や学級活動などの授業を通して、思いやりの心を育み、いきいき班活動等で実践できるようにする。 ② 感謝の会などの学校行事等を通して、感謝の心を表すとともに、温かい人間関係を育む活動をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。→教職員の肯定的回答 80%以上	① 図書の読み聞かせや図書資料、映像資料の活用を通して、教職員が持続可能な社会やSDGsの考え方について理解を深め、授業を含めた機会を捉えて話題に取り上げる。 ② SDGsの内容を掲示し、「持続可能な社会」についての啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
B 1 本に親しみ、進んで見聞と視野を広げようとしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、進んで本を読んでいる」→児童の肯定的回答 80%以上	① いろいろな分類の本を読めるように読書カードを工夫する。 ② 読み聞かせボランティアを活用し読書活動を充実させる。 ③ 「ぜひ読み」を家庭へ知らせ、読書に親しむ環境づくりをする。 ④ 市立図書館との連携等で積極的に学習に必要な本を収集し情報センターとしての機能を強化する。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員は、特別な支援を必要とする児童に対して、適切な支援をしている。→教職員の肯定的回答 85%以上	① 児童指導に係る研修や校内支援委員会を活用して情報収集・情報共有・共通理解を図る。 ② 教育相談やQ-Uなどを活用して児童理解を図るとともに、自己肯定感がもてる学級経営や分かる授業を展開する。 ③ 週1回の打合せにおいて、必要に応じて児童指導に係る情報交換をして共通理解を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。→保護者の肯定的回答 85%以上	① いじめ防止基本方針に基づき、いじめアンケートや教育相談等を活用して、いじめの未然防止・早期発見・早期対処を図る。 ② 教育活動のあらゆる場面を通して、児童の人権感覚を育み、いじめが許されない行為であることを指導する。学年便りの工夫や懇談会で伝えたり、ホームページを活用したりして情報を発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。→児童の肯定的回答 85%以上	① 児童指導に係る校内研修などから、情報収集・情報共有・共通理解を図るとともに、早期発見・早期対処を図る。 ② 不登校とならないための魅力ある学校づくりを進めるとともに、不登校児童に対するきめ細かく柔軟な対応を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員は、外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。→教職員の肯定的回答 85%以上	① 児童指導に係る研修や校内支援委員会を活用して情報収集・情報共有・共通理解を図る。 ② 教育相談やQ-Uなどを活用して児童理解を図るとともに、自己肯定感がもてる学級経営やわかる授業を展開する。 ③ 必要に応じて児童指導に係る情報交換をして共通理解を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 私は、今の学校が好きです。→児童の肯定的回答 85%以上	① いきいき班による異学年交流活動に積極的に取り組み、児童主体の活動を展開していく。活動を通して、児童・教職員間の信頼関係や仲間意識を高める。 ② 児童一人一人が自分の良さを発揮し、学校生活への充実感や自己肯定感、自己の成長を感じることでできる学校づくりに取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。→児童の肯定的回答 85%以上	① 一人一人の興味・関心や能力を的確に把握し、体験的学習を取り入れながら、指導と支援の工夫に努める。 ② 1人1台端末を積極的に活用した「楽しくわかる授業」を推進していく。 ③ 「はっきり・じっくり・すっきり」の宇都宮モデルプランに基づき授業を展開する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。→教職員の肯定的回答 80%以上	① それぞれの専門性を生かしチーム学校で対応していく。具体的な協働の在り方を研修し、実践していく。 ② 校内の様々な職種の特性を生かして協力し、多角的な解決策を検討し取り組んでいく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。→教職員の肯定的回答 80%以上	① 行事・活動の起案時に目的を明確にした上で、業務の効率化を意識した計画とする。 ② ミライムの出・退勤時刻管理を活用し、勤務時間を意識した働き方への意識改革を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」→児童の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園であいさつ運動を定期的を実施することで中学生との交流を深める。 ② 地域学校園内での小中乗り入れ授業や分科会を通して小・中教職員間の勉強会や情報交換を積極的に実施していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	① 学校便りやHPで、PTA活動や各種ボランティア活動を活用した教育活動の様子を積極的に活用していく。 ② 保護者や地域の教育活動に関する要望には、教職員同士が協力し合い、迅速に対応する	【達成状況】 【次年度の方針】

	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。→保護者の肯定的回答 85%以上	① P T A・安全パトロール隊（自治会）・地域の見守り活動と協力し、児童の登下校の安全に努める。 ② 見守り、読み聞かせ、菜園ボランティアをはじめ、地域ボランティア活動を積極的に推進し、児童の教育活動の充実に努める。 ③ 企業・地域の施設や人材を活用した学習や体験活動の充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。→保護者・地域住民肯定的回答 80%以上	① 施設の設備点検を実施し、必要のある場合には、補修・修繕を迅速に行う。普段の清掃では行き届かない個所の環境整備を計画的に行う。 ② 校内の空きスペースや掲示場所を有効に活用し、環境美化や情操教育に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 教職員は、I C T 機器や図書等を整備している。→教職員の肯定的回答 85%以上	① I C T 機器や図書館等を活用した分かる授業を展開するため、設備の充実を図る。 ② I C T 機器や図書等を活用して授業の改善を推進するため、設備の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B2 教職員は児童のよさや努力を認め、励ます指導を行っている。 【数値指標】 教職員は児童のよさや努力を認め、励ましてくれる。→児童の肯定的回答 85%以上	① 教職員は児童が互いのよさを認め合う機会を設け、また、認め、励ます指導により、自信をつけられるよう努める。 ② 児童が自己肯定感を持ち、自分のよさを生かして活躍できる場を設定し、自尊感情が高められるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。